

「最高度の創造的な探求、繊細さと 荒々しさをブレンドした独特な構成のトラック...常に新鮮で音楽的に満足の いく方法で」

Stereo Stickman

Nantokanaru の2022年 EP『Emotional Damage Wreckage』は、ファンや評論家の注目を集めています。「独特なメロディと巧妙に構成されたさまざまな影響」(MusicServer.cz)は、「素晴らしい」と「感情的なロックの最高傑作」と評されています。インキュバス、フェイス・ノー・モア、さらにはペリフェリーにも例えられるブラハを拠点とする5人組が、奇抜な日本をテーマにしたオルタナティブ・ロックの新曲をリリースしました。

## 新しいシングルについて

タイトルは「Awakening(目覚め)」。東京の都市部の厳格な社会階層の中で生きながら、最も根源的なニーズや欲求に繋がっていることの難しさを訴えています。ギタリストのイゴール・プルサが日本で過ごした10年間の異文化間の葛藤からインスピレーションを得たこの曲は、ソフトで内省的なボーカルと原始的な爆発の両方で表現され、ヘビーで不均衡なグルーヴ、織り込まれたギターライン、そして僧侶の唱える声が背景となっています。

タイトルトラックの「Awakening」が Nantokanaru の新作 EP の幕を開け、大胆かつ詩的な日本語詞の「Detarame」へと続いていく。そして、アナログ・ボコーディングとシンコペーション・ディレイを駆使した、私たちの最も暗い瞬間をメランコリックに表現した「Overcome/Undone」へとたどり着く。この『Awakening EP』は、主要なソングライターであるイゴール・プルサとデレク・サクセンマイヤーが10年以上自国を離れて暮らした後に得た、社会、文化、人間関係に対するユニークな視点を探求する新曲シリーズの第2弾です。



「...曲の最後の1分間は素晴らしい。力強いギターの音色に重なる、大合唱のようなコーラスが壮大なクレッシェンドで響き渡る。時折、まったく圧倒されるような新しいバンドが現れる。このバンドもその一つである」

Pitch Perfect



## Nantokanaru について

Nantokanaru は、日本学者イゴール・プルサが2007年に結成したチェコのオルタナティブ・ロック・バンドです。ビジネススーツ、日本の童謡、ゴーゴードンサーをミックスしたバンドの壮大なステージショーは、たちまち彼らを無名からチェコのオルタナティブロックシーンの最前線へと押し上げた。彼らのファーストアルバム『He Who Dances with Swans』は、著名な MusicServer.cz により2008年のベストデビューアルバムに選ばれ、同年、Jack Daniels Music の国内コンテストで優勝した。その後、バンドはテネシー州ナッシュビルに飛び、プロデューサーのデイヴィッド・バーベ(ディアハンター、R.E.M.)と共に新曲のレコーディングを行いました。2012年には、イゴールが博士号取得を目指して東京に移住したため、バンドは活動を休止する前に2枚目のアルバム『She Who Plays With Shadows』をリリースしました。

10年後、ナントカナルは再結成し、ギタリストのイゴール・プルサとデレク・サクセンマイヤーが共同で作曲と作詞を手がけている。ベーシストのヴィット・クラヴァチェックとドラマーのミハル・グレブルがリズムセクションを担当し、ディエゴ・ゼタが多彩なボーカルでストーリーを表現している。この新しいラインナップは、生の感情、音楽的実験、日本の象徴を融合させたバンドの型破りなスタイルをさらに発展させている。